

# 南那珂の普及活動 (普及活動月報)

令和8年1月  
南那珂農林振興局  
(南那珂農業改良普及センター)

## I 管内農業・農村の主な動き

### 1 管内団体が第68回宮崎日日新聞農業技術賞を受賞

16日、宮日会館(宮崎市)にて標記贈呈式が開催されました。

南那珂地域からは、宮崎県農業協同組合串間市大東地区本部肉用牛部会が贈呈を受けました。

肉用牛の改良や生産性向上への積極的な取り組みが評価されました。

今後も、関係機関と協力し、管内の団体を支援していきます。



贈呈式の様子

### 2 第13回全国和牛能力共進会肉牛の部出品候補牛の巡回が開催

30日、第13回全国和牛能力共進会肉牛の部について、管内の出品候補牛の巡回が開催されました。

日齢に応じた発育、体型等について1頭ずつ慎重な検査が行われました。

今後、検査結果をもとに候補牛の選定が行われ、3月9日には、繁殖農家から肥育農家へ候補牛が引き渡される予定です。

## II 主な普及指導活動等の取組

### 1 プロジェクト（基本、専門、重点）に関する普及活動

#### 総1 地域農業の担い手確保と技術・経営管理能力向上による人材育成

##### 1) 第3回南那珂地域青年農業者等支援連絡会議を開催

27日、南那珂地域の人材育成、担い手確保に係る中核的な連携会議である南那珂地域青年農業者等支援連絡会議を開催しました。

今回は、県の担い手地域キャラバンと合わせて開催、JAみやざき本店や(一社)宮崎県農業会議、(公社)宮崎県農業振興公社、県担い手農地対策課を交え、新規就農者の誘致・受入体制の強化等について意見交換しました。また、事業承継等に関する情報提供も行われました。

その後、新規就農者の相談状況、管内の認定新規就農者の営農状況、承継資産状況等に関する情報の共有を行いました。

今後も引き続き、産地サポート体制の充実に向けた連携に取り組んでいきます。

##### 2) 認定新規就農者を巡回し営農の状況等を確認

28日から30日にかけて日南市の9名の認定新規就農者を巡回し、営農状況や経営・技術面の課題・悩みなどの確認を行いました。この巡回は、日南市と連携して実施したもので、概ね順調に営農できていることが確認できました。また、担当職員のそれぞれの視点から課題の解決について助言しました。

今後も引き続き、関係機関と連携しながら新規就農者に対する支援を行っていきます。



園地の管理状況の確認

##### 3) 重点対象農家への支援

15日、重点対象農家である日南市の認定農業者1名（露地野菜）の巡回を行い、防除のタイミング等について助言しました。

今後も引き続き定期的な巡回を行い、経営安定に向けた支援を行っていきます。

## 総 2 南那珂地域における持続可能な水田農業の実現

### 1) みのさきファーム理事会が開催

19日、みのさきファーム理事会が開催されました。みのさきファームでは、谷之口地区の鳥獣害防止対策として、電気柵設置が予定されており、理事会では、設置日程について協議が行われました。

引き続き、地域営農の継続について支援します。

## 専 1 産地ビジョンに基づいた食用かんしょ産地の維持

### 1) 県産品点検及び市場との意見交換を実施

29日、福岡県（福岡大同青果）にて、かんしょの県産品点検を行い、普及センター、各JA地区本部営農指導員、串間市及び県関係者（農産園芸課、試験場）が出席し、リモートでも、地域とつないで、関係機関・団体（JA、振興局、県関係課）が参加しました。

今回の調査では、串間市産の「高系14号（宮崎紅）」、「べにまさり」及び「べにひなた」と、他県産の「べにはるか」や「シルクスweet」等の着荷後の品質や食味について評価を行い、市場関係者と意見交換を行いました。

意見交換では、串間市産かんしょの品質に対する高い評価を得た一方で、今後の出荷体制に対して、他産地の事例を踏まえた改善提案もありました。

今後は、各市場からの評価やアドバイスを参考に、販売面まで含めた対策を関係機関・団体で検討し、次年度以降の生産に生かしていきます。



外観調査



食味調査（8種類）

### 2) ゴボウの肥料効果確認試験ほの調査

16日、発酵肥料の効果確認の試験を実施しているほ場で、JA営農指導員と生育調査（草丈、葉の枚数、葉長、葉幅）を行いました。今回の調査では、試験区と慣行区に大きな差は見られませんでした。

次回は2月12日に生育調査を実施する予定です。

## 専2 マーケットインを意識した産地再編による茶業経営の安定

### 1) J Aみやざきはまゆう地区本部茶部会総会が開催

16日、J Aみやざきはまゆう地区本部茶部会総会が串間支店で開催されました。議事は、異議なく承認され、J A本店から、茶を巡る情勢の報告がありました。普及センターからは、今後の管理について、病虫害、施肥、防霜対策等の説明を行いました。本年産は、過去に例をみない高値で推移した年でありましたが、引き続き、収量・品質向上を図るため、茶園管理の徹底を呼びかけました。

## 専3 10年後の産地を担う畜産経営体の育成

### 1) 重点対象農家の巡回を実施

27日に、日南市の重点対象農家（肉用牛繁殖農家）1名の巡回を行い、放牧地の現状確認等を行いました。

また、重点対象農家のほ場を随時巡回し、生育状況の確認を行いました。

今後も引き続き、定期的な巡回を行い、生産性向上を目的とした牛の飼養管理について支援します。

### 2) いもち病抵抗性イタリアンライグラスの現地検討会を開催

15日、串間市のほ場にて、いもち病抵抗性イタリアンライグラスの現地検討会を実施しました。当日は、農研機構九州沖縄農業研究センターの荒川氏より、品種特性に関する説明が行われ、ほ場の生育状況等を確認しました。

引き続き、地域に適した栽培方法について調査を行うなど飼料作物の安定生産を支援します。

## 専4 産地ビジョンに基づいた果菜類(きゅうり・ピーマン)の生産性向上

### 1) ピーマン部会串間支部品質向上研究会が開催

15日、品質向上研究会が開催されました。J Aによる市況情勢報告のほか、普及センターから「ピーマンに発生する主な病害(うどんこ病)について」と題した講習を行いました。生産者からは多くの質問が寄せられ、活発な意見交換の場となりました。

今後も作の後半に向けて、継続的な支援を行ってまいります。



研究会の様子

## 2) はまきゅうり勉強会

30日、標記勉強会を開催しました。今回は厳冬期の各生産者の管理状況と生育調査結果の共有を行いました。

今年度は、生産者自身が実施する生育調査結果と、ハウスの環境データとを照らし合わせながら管理することの重要性を説明しました。

生産者から、お互いの管理のポイントなどについて活発な意見交換が行われました。



勉強会の様子

## 専5 環境制御によるマンゴーの品質向上と露地かんきつの経営安定

### 1) はまゆう地区本部施設せとか出荷協議会が開催

13日、はまゆう地区本部管内において、施設せとか生産者13名の参加のもと標記協議会が開催されました。

会では、JA、亜熱帯作物支場、普及センターで各生産者の園地を巡回し、果実品質や着果状況の調査を行い、結果をもとに、JAが出荷要領等を説明しました。

今年産は昨年と比較して糖度が高い傾向であり、果実品質は概ね良好でした。

今後もJAと連携し、収量・品質向上に向けて支援します。



出荷協議会の様子

### 2) 串間市大東地区本部早期きんかん学習会が開催

28日、串間市大東地区本部管内において、早期きんかん生産者約25名の参加のもと、標記学習会が開催されました。

会では、普及センターから収穫終了後の病虫害対策や肥培管理、剪定の目的について説明した後、実際にきんかんの樹を剪定し、手順等を確認しました。

今後もJAと連携し、収量・品質向上に向けて支援します。

## 専6 南那珂花き産地戦略に基づいた産地育成

### 1) 第6回花き技術員会を開催

8日、花き技術員17名の参加のもと、標記技術員会が開催されました。

各品目の生育概況報告や展示ほの進捗状況確認のほか、2月に開催予定の南那珂地区花き展示品評会の検討を行いました。

今後も関係機関と連携し、イベントを通じた管内の花き産地の維持発展を目指していきます。

### 2) みやぎき「花の祭典2026」花き展示品評会へ出展

30、31日、南那珂地区管内花き生産者21名が、宮崎中央花き市場、イオンモール宮崎にて開催された展示品評会へ出展しました。

今回は、南那珂より、スイートピーやスプレーストック、ダリアの計73点が出展されました。

品評会では、管内の花きが「宮崎県農業協同組合代表理事組合長賞」の特別賞をいただいたほか、各品目において金・銀・銅賞を受賞されました。

南那珂地区の花きをPRできた展示品評会となりました。



花の祭典2026の様子

## 2 プロジェクト（基本、専門、重点）以外の普及活動

### 1) JAみやぎきはまゆう地区本部稲作部会日南・串間総支部総会が開催

20日及び21日、JAみやぎきはまゆう地区本部稲作部会の総会が開催されました。

総会では、今年度の実績、次年度の取組について協議が行われました。普及センターからは、夏場の高温による品質低下が発生したことから、高温障害対策を含む品質向上対策について説明を行いました。

今後も、良質な米の生産を基本とし、実需に信頼される産地づくりの支援を進めていきます。



総会の様子

## 2) スイートコーンの展示ほ（施肥試験）の設置

20日、串間市塩屋原地区にて、JA、農家と連携し、施肥試験の展示ほを設置しました。

近年、生産コストの増加の影響等から、作付面積の減少などが懸念されているため、経費削減を目的に、基肥一発型の低コスト肥料が生育及び収量へ及ぼす影響を検討します。

今後は、生育ステージごとに、状況を確認しながら、防除情報等について生産者へ情報共有を行うとともに、引き続き、栽培技術等の支援も行っていきます。

## 3) オクラ専門部総会の開催

23日、JAみやざきはまゆう地区本部オクラ専門部総会が開催されました。総会では、議案審議のほか、出荷実績の優秀な生産者の表彰や市場関係者等からの情勢報告が行われました。

令和7年産は、台風等の大きな災害の影響は少なく、11月まで概ね順調に栽培が行われました。

一方で、播種後の病害発生や夏場の猛暑などにより、栽培管理に苦慮する場面も見られた年となりました。

令和8年産についても、生産者の所得確保に向け、関係機関・団体の協力を得ながら、引き続き、栽培技術等の支援を行っていきます。



オクラ専門部総会の様子

## 4) 放牧研究会現地研修会が開催

28日、串間市で、放牧研究会の現地検討会が開催されました。

昨年10月に設置した電気柵について、電圧チェックや周辺雑木の除去、電牧線のたるみの解消等を行いました。

また、ピッグティールポールを用いた移動柵の設置研修を行い、参加者からは、簡単に柵を設置できるとの声がありました。



研修会の様子

## 5) 南那珂地区女性農業者サポート協議会研修会が開催

19日、日南市南郷町ハートフルセンターにて、南那珂地区女性農業者サポート協議会研修会を開催、28名（女性農業者13名、関係機関等15名）が参加しました。

大分県の農業法人ウーマンメイク（株）代表の平山亜美氏より、多様な勤務形態や子連れ出勤の導入といった柔軟な労務管理および女性の身体的負担を軽減する職場環境づくりについて講演いただき、「農業を女性の職業選択肢に」という理念や、育児世代も活躍できる環境整備の重要性を共有しました。

次に、農産加工の取り組み事例として、3名の農業者から地元産レモン等を活用した委託加工や販路開拓について発表いただきました。

続く意見交換・交流会では、フードビジネス相談ステーションの大角恭代氏よりHACCP対応や最新の食品表示制度に関する解説をしていただきました。参加者は事例発表者の加工品の試食を交えながら、加工品開発や地域の魅力発信について活発に意見交換を行いました。

今後も、女性農業者の経営参画や加工品作り、組織活動への参加を通じた資質向上を支援してまいります。



講演会の様子



意見交流会の様子

農業者、漁業者、県民の皆さまの「知りたい！伝えたい！相談したい！」にお応えします！

宮崎県農業・水産業ナビ **ひなたMAFiN**  
Miyazaki Agriculture and Fisheries Navigation

農業・水産業に関する

- 多様な情報をホームページでわかりやすく提供！
- タイムリーな情報をSNSなどを活用して発信！
- 皆さまの思いや意見を集約！

ひなたMAFiN 検索

メルマガ登録はこちら